

スポーツ年表

- 平成元年(1989)**  
2000mコースを擁する天竜漕艇場が完成
- 平成2年(1990)**  
都市対抗野球大会でヤマハが優勝  
浜松アリーナがオープン
- 平成3年(1991)**  
古橋廣之進が日本オリンピック委員会(GIOC)会長に就任
- 平成4年(1992)**  
バルセロナオリンピックの陸上で杉本龍勇、競泳で漢人陽子が活躍
- 平成6年(1994)**  
武田修宏がJリーグベスト11に選出
- 平成7年(1995)**  
花川運動公園庭球場がオープン  
全国ポートサミットを開催
- 平成8年(1996)**  
アトランタパラリンピックで河合純一が競泳で2個の金メダルを獲得(12年、16年の大会でも金メダル)
- 平成9年(1997)**  
浜松市北部水泳場がオープン  
鈴木尚典が2年連続首位打者を獲得  
都市対抗野球で河合楽器が初優勝
- 平成15年(2003)**  
NEW!! わかふじ国民体育大会を開催
- 平成17年(2005)**  
第1回浜松シティマラソンを開催
- 平成18年(2006)**  
FIBAバスケットボール世界選手権を開催  
ねりんピック静岡2006を開催
- 平成19年(2007)**  
FIVBワールドカップバレーボール女子浜松大会を開催
- 平成20年(2008)**  
北京パラリンピックで鈴木孝幸が金メダル  
古橋廣之進が文化勲章を受章
- 平成21年(2009)**  
古橋廣之進記念浜松市総合水泳場「ToBiO」がオープン  
競泳日本選手権「JAPAN SWIM 2009」を開催
- 平成22年(2010)**  
bjリーグ浜松・東三河フェニックスがリーグ初優勝(平成23、26年も優勝)
- 平成24年(2012)**  
フットサルチーム アグレミーナ浜松が誕生  
女子バレーボールクラブ プレス浜松が誕生
- 平成25年(2013)**  
シンクロジャパンオープン2013in浜松を開催
- 平成28年(2016)**  
河合純一が日本人初のパラリンピック殿堂入り  
社会人野球日本選手権大会でヤマハが初優勝  
平山小学校自転車部が交通安全全国大会で団体優勝と文部科学大臣賞をW受賞
- 平成29年(2017)**  
クライミング・ワールドカップで藤井快が初優勝  
世界柔道選手権で橋本壮一が初優勝



現在、杉本龍勇はサッカー日本代表、岡崎慎司のパーソナルコーチなど、指導者としてもスポーツ振興に努めている。

関連スポット 四ツ池公園陸上競技場 浜松市中区上島6-19-1 MAP 24

# 24

## Jリーグを盛り上げる 浜松のサッカー選手

平成6年(1994)  
武田修宏がJリーグベスト11に選出

関連スポット 遠州灘海浜公園球技場 浜松市南区江之島町1706 MAP 25

サッカー王国として全国に名を馳せる静岡県。清水や藤枝のイメージが強い中、少年サッカーでは、選抜チーム「浜松JFC」が全国を席巻した時代もあった。平成3年にスタートした日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)では、ヴェルディ川崎(現東京ヴェルディ1969)のストライカー武田修宏が大活躍。武田に続けとばかり、日本代表となった矢野貴章や山田大記など、平成の時代に浜松出身者13人がJリーガーとなった。また、Jリーグの監督も複数輩出している。30年には、初めて静岡の頂点に立った浜松開誠館高校が、全国高校サッカー選手権に出場。サッカー界におけるさらなる輝きを目指して日々鍛錬を続けている。

関連スポット 浜松球場 浜松市中区上島6-19-1 MAP 26

# 25

## 全国レベルで活躍が続く 浜松の陸上界

平成4年(1992)  
バルセロナオリンピック  
杉本龍勇が陸上リレーで決勝進出

教授・フィジカルコーチ)が男子4×100mリレーのアンカーを務め、戦後初の決勝進出を果たした。また、スズキが運営する「スズキ浜松アスリートクラブ」も全国的に知られる名門。これまでに8人のオリンピック、1人のパラリンピアンを輩出するなど、クラブチームでありながら実業団チームを凌駕するほどの活躍を続けている。

平成9年(1997)  
鈴木尚典が2年連続セ・リーグ首位打者獲得

# 26

## 少年野球チームから 社会人まで 有力選手を輩出

平成22年(2010)  
bjリーグ浜松・東三河フェニックスがリーグ初優勝

平成年間に、社会人野球ではヤマハが平成2年の都市対抗と、28年の日本選手権大会で優勝。河合楽器は13年の都市対抗で優勝している。平成の時代、両チームを中心に30人以上がプロ野球界に在籍している。特に、横浜DeNAベイスターズで活躍した鈴木尚典は、2年連続でセ・リーグ首位打者を獲得するなど輝かしい実績を残した。鈴木尚典や中田ドラゴンズで活躍中の鈴木翔太も少年硬式野球チーム「浜松リトルシニア」で技術を磨いてきたという共通点がある。また、「浜松南リトルリーグ」も23年に初の全国制覇を果たす。日本代表として出場した世界大会では準優勝に輝いた。今日も多くの少年は夢を追い、汗を流している。さらなる有力選手の登場が待ち遠しい。

# スポーツの ポテンシャルが開花

充実したスポーツ施設、優秀な指導者と育成システムが揃う浜松。水泳をはじめとする様々な競技において、多くの有力選手が誕生した。

平成8年(1996) アトランタパラリンピック  
平成12年(2000) シドニーパラリンピック  
平成16年(2004) アテネパラリンピック  
河合純一が競泳で金メダルを獲得  
平成20年(2008) 北京パラリンピック  
鈴木孝幸が競泳で金メダルを獲得

# 23

## 水泳の聖地から パラリンピアン レジェンドスイマー誕生

水泳ニッポンの礎を築いた田畑政治、水泳競技において日本人で初めてオリンピックに出場した内田正練、フジヤマのトビウオといわれ33回も世界記録を更新し、日本オリンピック委員会(JOC)会長も務めた古橋廣之進。平成の時代には、この水泳の聖地浜松から、パラリンピックで大活躍するスイマーが誕生した。1人は盲目のスイマーとしてパラリンピックに6度出場し、5つの金メダルを含む21個ものメダルを獲得した河合純一。もう1人は先天性四肢欠損ながらパラリンピックに3度出場し、金メダルを含む5個のメダルを獲得した鈴木孝幸



写真提供:中日新聞社

新記録が樹立されている。また、ToBiOでは市内の小学5、6年生を対象として、30分間泳ぎ続ける30分間泳が行われている。海・湖川に囲まれて育つ子どもたちが水難事故などから身を守るためにと始められ、50年以上続く伝統行事となっている。平成30年度の合格者数は7011人で、合格率は96.5%。累積合格者数は279,850人となった。まさに田畑政治や古橋廣之進の時代から脈々と受け継がれてきたレガシーが息づいている。また、オリンピックにおいても、平成4年のバルセロナ大会女子400mメドレーリレーで7位入賞を果たした漢人陽子など、輝かしい実績を残している。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けても、浜松出身のスイマーが虎視眈々と代表の座とメダルを狙い、精進を重ねている。

古橋廣之進記念  
浜松市総合水泳場ToBiO MAP 23A  
浜松市西区篠原町23982-1  
https://www.hgw.co.jp/tobio/

TOPICS

「とびうお杯」から数多くのオリンピアンを輩出  
田畑政治らの手で設立され、100年以上の歴史を誇る浜名湾遊泳協会が、昭和62年から始めた「とびうお杯 全国少年少女水泳競技大会」は、小学生対象の大会として、唯一、日本水泳連盟が公認している全国大会。毎年夏に全国からトップスイマーが集結し、熱戦が繰り広げられる。出場者には、北島康介や瀬戸大也などのメダリストも存在し、世界へと続く登竜門となっている。



高性能の施設と優秀な指導者が  
パラリンピアンを育てる

浜松市西区に、重度の障がい者に適した器具を揃える、全国的にも類を見ないメディカルフィットネスクラブLENがある。障がい者を対象とした水泳教室「べんぎん村」の指導者・伊藤裕子が設立した。市内のプールを使用していたが、一般的な設備だと受け入れられない生徒も多くいたため、車椅子や排便管理の難しい方も楽しめるプールをと、平成28年オープンに漕ぎ着けた。目的は、健康者・障がい者のどちらも使える自由なフィットネスとして、心のバリアフリー化を図ること。その目的はもとより、技を磨いた多くの代表選手がここから誕生している。

メディカルフィットネスクラブLEN 浜松市西区入野町8877-1  
MAP 23B http://www.mfc-len.jp/

河合純一選手



写真提供:パラフォト/ノノ谷信行